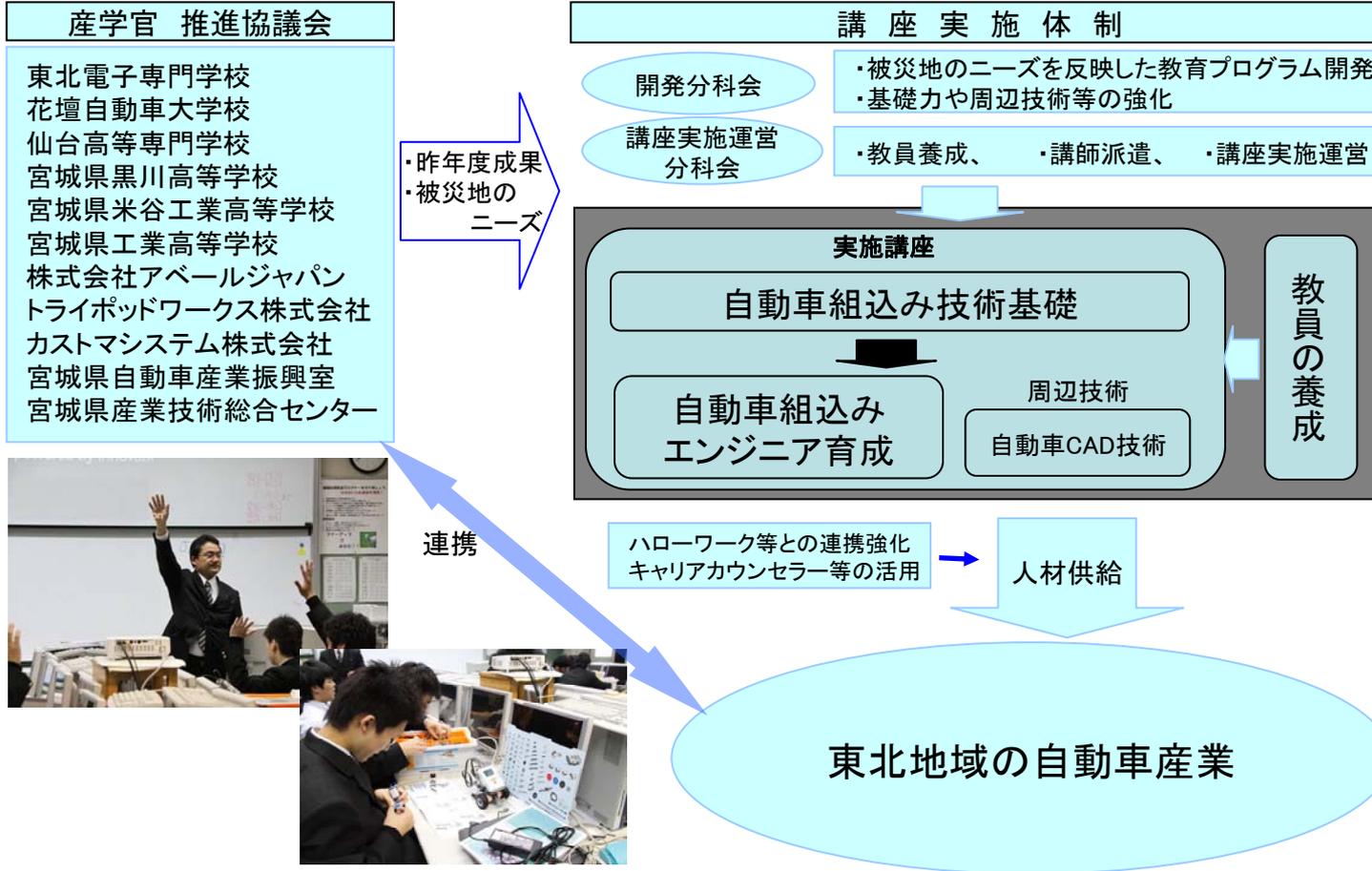


# 東日本大震災からの復興を担う専門人材育成支援事業(自動車組込み系分野例)

趣旨・目的

東北地方は、自動車産業の集積が進み国内第3の拠点として、その役割を期待されている。本事業は、昨年度事業成果を踏まえ、被災地のニーズに対応した自動車組込み産業における復興人材育成のための講座実施及び教員養成を行う。実施にあたり、産・学・官による推進協議会を組織し、自動車組込みエンジニア育成講座を行なうとともに昨年度事業で課題として挙げられた基礎力や周辺技術等の教育プログラムを整備し、裾野の広い東北地方の復興を担う自動車組込み産業人材育成を支援する。講座の実施運営については、他地域にある企業、専門学校等に協力を要請し、講座の円滑な運営を図る。

## プロジェクト全体像



《協力専門学校、企業、団体》

- 日本電子専門学校
- 日本工学院専門学校
- 浜松情報専門学校
- 名古屋工学院専門学校
- 大阪工業技術専門学校
- 株式会社両毛システムズ
- 株式会社ヴィッツ
- 株式会社エスワイシステム
- キャリア技研株式会社
- 株式会社アフレル
- イーソル株式会社
- 一般社団法人  
組込みシステム技術協会
- 一般社団法人  
全国専門学校情報教育協会  
ほか



## 実施要項

- 被災地のニーズへの対応
- 教員の養成
- 基礎力や周辺技術等の強化
- 人材育成講座の実施、検証

# 東日本大震災からの復興を担う専門人材育成支援事業

## (地域資源を生かした観光振興を担う6次産業人材育成の例)

### 【事業概要】

本事業では、地域資源を生かした観光振興を担う6次産業人材を、地域観光資源の一つである郷土料理・地元特産フードメニューを中心とした教育により、食農観光ビジネス人材として育成し、あわせて震災被災地の経験を語り継ぎながら復興を担う人材育成に資することも目的にしている。今年度は食品製造、外食、小売、観光産業までを総合的に行う「6次産業人材を育成する教育システム開発」と、郷土料理・地元特産フードメニューの商品開発及び販売を目指す。

### 【教育プログラムについて】

『食と観光』の連携から地域活性化を目指し、①地元の郷土料理・地元特産品を生かした「地元特産フードメニュー製作プログラム」と、②震災・津波・防災に関する「語り部育成プログラム」の2つの教育プログラム開発と教材作成を行い、③実証講座を行う。

また、④実際に他の大地震被災地であった兵庫県神戸市及び淡路島や新潟県山古志村への調査・研究・交流から震災後の観光振興成功事例を学ぶ。

さらに⑤地元特産フードメニューを考案する「地元特産フードメニュープロデュースプログラム実証講座」を岩手県釜石市及び盛岡市等で行い、教育プログラムの実証とともに人材育成を図る。

郷土料理、特産品を生かした  
「地元特産フードメニュー製作プログラム」  
＜対象地域＞岩手県中心

震災・津波・防災に関する  
「語り部教育プログラム」  
＜対象地域＞岩手県中心

調査・研究・交流研修  
＜訪問先＞兵庫県、  
新潟県

推進協議会  
調査・研究  
文科会

「地元特産フードメニュープロデュースプログラム」  
＜対象地域＞岩手県盛岡市等  
※地元特産品を生かした新しいフードメニューの  
商品開発や調理、観光産業までを総合的  
に行う6次産業事業、人材育成を目指す

カリキュラム開発委・実証  
テキスト教材開発・実施



《協力専門学校、企業、団体等》

- ・岩手県商工労働観光部
- ・釜石市産業振興部
- ・両石町復興促進協議会
- ・学校法人有坂中央学園
- ・学校法人浦山学園
- ほか農業協同組合中央会、商工会議所等